

-ト は以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2021-10-15

改訂番号 1

1. 化学品及び会社情報

製品名 LYNX LYOPHILIZED DyLight 550 MIX - #10570

安全データシート 番号 10570

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad 140-0002 1000 Alfred Nobel Drive **Endeavour House** 東京都品川区東品川2-2-24 Hercules, CA 94547 Langford Business Park

天王洲セントラルタワー20F USA Kidlington バイオ・ラッド ラボラトリーズ Oxford

株式会社

OX5 1GE United Kingdom

e-mail:

antibody_safetydatasheets@bio-ra

d.com

テクニカルサービス 03-6404-0331

life_ps_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637 緊急連絡電話番号

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 使用上の制限 情報なし。 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	区分に該当しない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素



JGHS / JP ページ 1/7

注意喚起語

危険有害性情報

強い眼刺激

注意書き 安全対策

- ・取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと
- ・眼/顔面用保護具を着用する

応急措置

- ・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も 洗浄を続けること
- ・眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること

保管

該当しない

廃棄

該当しない

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質 - 混合物の区別

混合物

化学品の名称	CAS番号	重量%	化審法インベント リ	化審法番号	安衛法インベント リ	安衛法番号
DyLight NHS Ester	NO-CAS-110	1 - 2.5	情報なし		情報なし	

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u>

該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

一般的なアド バイス 治療を行う医師にこの安全データシートを示すこと。

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

眼に入った場合

直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 洗っている間は眼を大きく広げてたままにすること。 受傷部をこすらないこと。 刺激が生じて長引くときは、医師の手当てをうけること。

口をすすぐこと。 意識のない者には、何も口から与えてはならない。 無理に吐かせないこと。 医師に連絡すること。 飲み込んだ場合

ページ 2/7

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある、 灼熱感 徴候症状

応急措置をする者の保護に必要な注意 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 個人用保護衣を着用すること(項目8を参照)。 事項

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置 用保護具を使用すること。

予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 指定された個人用保護具を着用すること。 急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。 二次災害の防止策

その他の情報 項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 安全取扱注意事項

皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 適切な手袋および眼/顔面保護具を着用する。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 衛生対策

保管

容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。 安全な保管条件

8. ばく露防止及び保護措置

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく 限界 許容濃度

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性 生物学的職業性ばく 露限界値

物質を一切含んでいない。

シャワー 設備対策

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、 呼吸用保護具

換気および排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用する。

薬液飛沫が生じる可能性がある場合には、サイドシールド付きの安全眼鏡を着用するこ 眼、顔面の保護具

ہ ع

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観 粉末、固体物、凍結乾燥されたもの

物理状態 固体 情報なし 色 臭い 情報なし 臭いのしきい値 情報なし

備考 · 方法 情報なし _ 一タなし 一タなし 情報なし タなし 情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし データなし 爆発又は可燃の下限界 情報なし データなし 引火点 情報なし 一タなし データなし データなし データなし 情報なし 情報なし 分解温度 情報なし

粘度 データなし 動粘性率 情報なし

· データなし 動的粘度 情報なし データなし 水への溶解度 データなし 溶解度 情報なし n ーオクタノール/水分配係数(log値) 蒸気圧 データなし 情報なし データなし 情報なし

密度及び/又は比重 相対密度 データなし 情報なし データなし 相対ガス密度 情報なし

粒子特性 粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化特性 情報なし

10: 安定性及び反応性

ページ 4/7

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

危険有害反応可能性 通常のプロセスではない。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

情報なし

経口LD50 情報なし **経皮**LD50 情報なし **吸入** LC50 情報なし **吸入** LC50 情報なし

症状 眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある

製品情報

この化学物質または混合物の特定試験データはない。 飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、及び下痢を引き起こすおそれがある。 経口

この化学物質または混合物の特定試験データはない。気道刺激を引き起こすおそれ。 吸入

この化学物質または混合物の特定試験データはない。 刺激のおそれ。 長期にわたり接触 すると発赤及び刺激を引き起こすおそれがある。 皮膚接触

眼接触 この化学物質または混合物の特定試験データはない。 強い眼刺激。(成分に基づく)。 発

赤、掻痒感、及び痛みを引き起こすおそれがある。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 強い眼刺激。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく 露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 区分に該当しない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

情報なし。 残留性. 分解性

生体蓄積性 情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 オゾン層への有害性

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 残余廃棄物

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

<u>IMDG</u> 規制対象外 <u>ADR</u> 規制対象外 <u>IATA</u> 規制対象外 日本 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR) 該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法 該当しない

JGHS / JP ページ 6/7

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 改訂日 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2021-10-15

改訂記録

この安全データシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA(時間加重平均)

天井値

皮膚兆候

最大限界值 感作性物質

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質.特定疾病対策庁(ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法

米国環境保護庁高生産量化学物質

フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース

国際統一化学情報データベース(IUCLID)

日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED) 米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム

経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

免責事項

元のSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり

ページ 7/7